2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月６日

上場会社名　　トラストホールディングス株式会社　　上場取引所　東 福
コード番号　　3286　　ＵＲＬ　https://www.trust-hd.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）山川　修
問合せ先責任者　（役職名）経営企画部長　　（氏名）佐々木　貴史　　ＴＥＬ　092-437-8944

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	3,259	32.1	128	－	94	－	54	－
2026年６月期第１四半期	2,468	△0.5	△24	－	△48	－	△40	－

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期　56百万円（－%）　2026年６月期第１四半期　△38百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	14.13	－
2026年６月期第１四半期	△10.64	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	9,904	473	4.8
2026年６月期	10,232	453	4.4

（参考）自己資本　2027年６月期第１四半期　473百万円　2026年６月期　453百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	－	9.00	－	9.00	18.00
2027年６月期	－				
2027年６月期（予想）		9.00	－	9.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	16.9	420	－	300	－	200	－	51.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	5,204,500株	2026年６月期	5,204,500株
② 期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	1,332,765株	2026年６月期	1,333,305株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	3,871,317株	2026年６月期１Ｑ	3,832,970株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10
（収益認識関係） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調が続いたものの、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰や金利上昇に起因するインフレ進行等が物価を押し上げ、その影響が家計や企業活動に波及していることから、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、駐車場事業の収益力向上、不動産事業における新築マンションの販売強化及び駐車場等小口化事業における「トラストパートナーズ」の販売拡大の他、各種事業の収益改善等に注力してまいりました。

以上の結果、売上高3,259,747千円（前年同期比32.1％増）、営業利益128,355千円（前年同期は24,496千円の営業損失）、経常利益94,883千円（前年同期は48,875千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は54,734千円（前年同期は40,786千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①駐車場事業

駐車場事業は、利便性向上を目的とした駐車場機器のリニューアルや料金改定などを実施し、安心・安全な車室の提供に努めた結果、売上が好調に推移したため、駐車場用地の地代や人件費の高騰に伴う売上原価の増加分を吸収し、前年同期比で増益となりました。

以上の結果、売上高1,836,503千円（前年同期比6.0％増）、営業利益106,913千円（同44.8％増）となりました。

なお、当第１四半期連結会計期間末の駐車場数は1,020ヶ所（前年同期より69ヶ所増、前連結会計年度末より10ヶ所増）、車室数は34,018車室（前年同期より3,406車室増、前連結会計年度末より162車室増）となっております。

②不動産事業

不動産事業は、新築マンション１棟「トラストレジデンス三本松Ⅱ（大分県日田市、64戸）」が竣工したほか、既竣工物件の販売等を継続し、30戸の引渡しを実施いたしました。また、今期竣工引渡し予定の新築マンションの販売活動に注力いたしました。

以上の結果、売上高1,010,712千円（前年同期比503.8％増）、営業利益12,096千円（前年同期は86,790千円の営業損失）となりました。

③駐車場等小口化事業

不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品「トラストパートナーズ」の販売を中心として行う駐車場等小口化事業は、当第１四半期連結累計期間において、商品の組成実績はありませんでしたが、既存商品の譲渡手数料収入が堅調に推移しました。

以上の結果、売上高26,130千円（前年同期比85.1％減）、営業損失264千円（前年同期は10,620千円の営業利益）となりました。

④メディカルサービス事業

メディカルサービス事業は、「介護老人保健施設みやこ」、「福岡信和病院」及び「嘉穂信和病院」等の賃貸による安定収入を得ている一方、営業体制の強化や金利上昇によって費用が増加いたしました。

以上の結果、売上高62,288千円（前年同期比4.4％減）、営業損失512千円（前年同期は5,977千円の営業損失）となりました。

⑤ＲＶ事業

ＲＶ事業は、キャンピングカーの製造、販売、修理・リノベーション等に注力しましたが、新車の販売台数が計画を下回り、前年同期比で減収・減益となりました。

以上の結果、売上高63,066千円（前年同期比27.4％減）、営業損失11,401千円（前年同期は9,343千円の営業損失）となりました。

⑥その他

その他の事業は、温浴施設「那珂川清滝（福岡県那珂川市）」、「和楽の湯下関せいりゅう（山口県下関市）」の新規来館者の獲得に向けた取り組みや、商業施設等の常駐警備契約獲得等に努めてまいりました。

以上の結果、売上高261,045千円（前年同期比7.9％増）、営業利益7,027千円（前年同期は6,835千円の営業損失）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して305,355千円減少し、6,742,806千円となりました。主な増加要因は不動産事業における販売用不動産の増加812,595千円であります。一方、主な減少要因は、仕掛販売用不動産の減少706,174千円、現金及び預金の減少443,620千円であります。固定資産は前連結会計年度末と比較して22,365千円減少し、3,161,516千円となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減価償却による減少15,011千円であります。

以上の結果、総資産は9,904,322千円となり、前連結会計年度末に比べ、327,720千円減少しました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して252,390千円減少し、6,926,157千円となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加804,454千円であります。一方、主な減少要因は、１年内返済予定の長期借入金の減少578,506千円、買掛金の減少433,732千円であります。固定負債は、前連結会計年度末と比較して94,380千円減少し、2,505,120千円となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少106,726千円であります。

以上の結果、負債合計は9,431,278千円となり、前連結会計年度末に比べ、346,770千円減少しました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して19,050千円増加し、473,044千円となりました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加54,734千円であります。一方、主な減少要因は、剰余金の配当による利益剰余金の減少37,381千円であります。

以上の結果、自己資本比率は4.8％（前連結会計年度末は4.4％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の通期の連結業績予想につきましては、2026年８月10日に公表いたしました「2026年６月期 決算短信」における連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,041,081	1,597,461
受取手形及び売掛金	275,005	333,637
販売用不動産	2,287,197	3,099,792
仕掛販売用不動産	1,371,750	665,575
商品及び製品	35,048	45,785
仕掛品	46,995	102,791
原材料及び貯蔵品	133,997	134,100
営業貸付金	1,100,000	1,096,250
その他	750,237	660,579
貸倒引当金	△993,151	△993,167
流動資産合計	7,048,162	6,742,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	914,168	899,156
土地	798,424	798,424
その他（純額）	682,215	687,045
有形固定資産合計	2,394,808	2,384,626
無形固定資産		
その他	13,642	13,134
無形固定資産合計	13,642	13,134
投資その他の資産	775,430	763,755
固定資産合計	3,183,881	3,161,516
資産合計	10,232,043	9,904,322

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,599,050	1,165,317
短期借入金	3,195,000	3,999,454
１年内返済予定の長期借入金	1,267,746	689,240
リース債務	160,081	165,187
未払法人税等	47,224	21,734
資産除去債務	12,900	6,900
契約負債	158,851	190,807
株主優待引当金	34,333	32,404
賞与引当金	－	41,011
その他	703,360	614,101
流動負債合計	7,178,548	6,926,157
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,586,179	1,479,453
リース債務	352,345	357,505
繰延税金負債	82	－
退職給付に係る負債	120,167	122,752
株式給付引当金	27,734	28,618
資産除去債務	214,831	218,127
その他	198,160	198,663
固定負債合計	2,599,500	2,505,120
負債合計	9,778,049	9,431,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	422,996	422,996
資本剰余金	233,456	233,456
利益剰余金	302,581	319,933
自己株式	△506,996	△506,825
株主資本合計	452,038	469,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,955	3,482
その他の包括利益累計額合計	1,955	3,482
純資産合計	453,994	473,044
負債純資産合計	10,232,043	9,904,322

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,468,120	3,259,747
売上原価	1,983,009	2,617,699
売上総利益	485,111	642,047
販売費及び一般管理費	509,607	513,692
営業利益又は営業損失（△）	△24,496	128,355
営業外収益		
受取利息	1,764	3,080
受取配当金	242	80
その他	5,577	2,562
営業外収益合計	7,583	5,722
営業外費用		
支払利息	28,731	35,093
その他	3,230	4,100
営業外費用合計	31,962	39,194
経常利益又は経常損失（△）	△48,875	94,883
特別損失		
減損損失	929	1,049
特別損失合計	929	1,049
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△49,804	93,834
法人税、住民税及び事業税	6,957	7,840
法人税等調整額	△15,974	31,259
法人税等合計	△9,017	39,100
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△40,786	54,734
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△40,786	54,734

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△40,786	54,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,355	1,526
その他の包括利益合計	2,355	1,526
四半期包括利益	△38,430	56,261
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△38,430	56,261

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等小口化事業	メディカルサービス事業	ＲＶ事業	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,731,758	165,995	14,002	10,163	86,889	2,008,810
その他の収益（注）４	－	1,395	161,077	55,000	－	217,473
外部顧客への売上高	1,731,758	167,391	175,080	65,164	86,889	2,226,284
セグメント間の内部売上高又は振替高	471	5,745	6,064	－	－	12,280
計	1,732,230	173,136	181,144	65,164	86,889	2,238,565
セグメント利益又は損失（△）	73,852	△86,790	10,620	△5,977	△9,343	△17,637

	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
売上高				
顧客との契約から生じる収益	241,836	2,250,647	－	2,250,647
その他の収益（注）４	－	217,473	－	217,473
外部顧客への売上高	241,836	2,468,120	－	2,468,120
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,951	39,232	△39,232	－
計	268,788	2,507,353	△39,232	2,468,120
セグメント利益又は損失（△）	△6,835	△24,473	△22	△24,496

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、警備事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額には、セグメント間取引消去131,529千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△131,398千円及び棚卸資産の調整額△154千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

４．その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく賃貸料収入等及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」（企業会計基準委員会　移管指針第10号）の対象となる不動産（不動産信託受益権を含む。）の譲渡等を含んでおります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等の関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等小口化事業	メディカルサービス事業	ＲＶ事業	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,836,503	1,009,185	19,830	14,074	63,066	2,942,660
その他の収益（注）４	－	1,527	6,300	48,213	－	56,040
外部顧客への売上高	1,836,503	1,010,712	26,130	62,288	63,066	2,998,701
セグメント間の内部売上高又は振替高	137	5,301	5,124	－	－	10,562
計	1,836,640	1,016,013	31,254	62,288	63,066	3,009,263
セグメント利益又は損失（△）	106,913	12,096	△264	△512	△11,401	106,831

	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
売上高				
顧客との契約から生じる収益	261,045	3,203,706	－	3,203,706
その他の収益（注）４	－	56,040	－	56,040
外部顧客への売上高	261,045	3,259,747	－	3,259,747
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,350	43,912	△43,912	－
計	294,396	3,303,659	△43,912	3,259,747
セグメント利益又は損失（△）	7,027	113,858	14,496	128,355

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、警備事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額には、セグメント間取引消去132,427千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△117,930千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく賃貸料収入等を含んでおります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等の関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	95,342千円	104,317千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。